

令和 4 年度 武蔵野市地域自立支援協議会 第 1 回全体会 コメントシート集計

※原文のまま掲載。個人名など個人情報がある場合は、一部加工しています。

＜地域生活支援拠点部会へ＞

- ・福祉職以外の人々も支援の担い手に、という視点は大切だと思います。ご利用者ごとに、親族や友人等、「この人のことならば助けてくれる人」というのを、それぞれの方のストレングスとして記録しておく、いざという時助けてもらえるのではないかと、ちょっと期待しています。
- ・よくまとめられていると思いました。相談部門の話もありましたが、総合的に進められると良いと思います。
- ・今後は「実際に始動してどのような課題があるのか、どのようなニーズが掘り起こされるのか」を共有し、問題解決できるような取り組みがあるとよいのでは？またその「場」が相談支援事業所のネットワーク、研修の場としても機能できるとよい。
- ・今日はありがとうございました。私も日々の支援の中で、てんかんなど緊急対応が必要な方を家族が頑張っているというケースがあり、地域での緊急対応の仕組みがあると非常に有難いと感じます。拠点へどのように連携させて頂けるかなど具体的に動きが決まりましたら、是非とも情報を頂けますと嬉しいです。
- ・5つの機能の1つにある緊急時の受け入れですが、子どもの想定はどのような話合いになっているか分かればと思いました。

＜地域移行部会へ＞

- ・不動産の借りにくさは、「知ってもらう」努力だけではなく、大家さん側の事情を知り、「どうしたら貸してもらえるのか」を探るのも良いのかなぁと思いました。
- ・アンケート調査をもとにできるところから取り組めると良いと思いました。また時間がかかることでもあるので来年度以降の部会編成にもよるかと思います。
- ・精神の方の長期入院の実態と、足りない居住支援サービスが明らかになったと思うので、次のステップは①精神障害の方の地域移行の具体化に向けたステップ、②知的障害者の長期入所者の地域移行ニーズの調査などに取り組めるとよいと感じました。
- ・近隣病院との話し合いを伺い、高齢化や社会資源の不足など多くの課題による社会的入院の問題を強く感じました。前々から言われていたことですが、そのことが病院側からも課題としてあげられたことにとても大きな意味があると感じました。特に社会資源の不足は、地域生活支援拠点部会にも課題として挙げられていた、居住支援や地域ネットワークの強化とも繋がるかと思うので、次年度の部会では繋げた取り組みが出来ると良いのではないかと思います。
- ・地域移行の課題の1つに上げられている住まい確保の点は、長期入院を余儀なくされている方のご高齢化が進んでいるとお聞きしました。ですので、福祉の高齢分野の住宅の計画との連携をしていくことが必要ではないかなと思いました。

### ＜差別解消部会へ＞

- ・武蔵野市は足としてバスがよく活用される地域なので、関東バスの運転士さんとの交流は良いと思いました。西武バスとも同様のやり取りができると更に良いかもしれないな、と思いました。
- ・バス運転手への取り組みは、印象に残りました。コメントでもありましたが今回のバス会社以外にも同様な手法で進められるので、今回の経験がいかされるのではと考えます。
- ・交通インフラとしての関東バスとのコミュニケーションを大変ポジティブな形で実施できたのは成果であったと思いました。この関係を切らず、次は買い物インフラ、メディアなどとのコミュニケーションも価値ある取り組みになるのでは？と思いました。コピス、むさしのFMなどと同様の取り組みができるとよいのでは。
- ・今日の発表で、関東バスからの質問やその回答をチャット形式でチラシを作るのは読みやすく、とても良い方法と思いました。別の取り組みの際にもその方法で情報発信をできると面白いように思うので、差別解消部会の皆様のアイディアを地域で活かしていけると良いなと思いました。
- ・関東バスさんとの交流を新たな形で工夫されたこと、今後の理解啓発につながるようにと願います。一方で、差別解消法では公的機関だけでなく民間も義務となるため、市全体に継続的に伝えられる方法が必要と思いました。2月に市が開催された差別解消法の講演会の動画配信がまずはその1つになると思います。

### ＜コロナ対応部会へ＞

- ・ミクロの視点で個々の困り感を知り、そこからマクロの要素を抽出するというのが、もう少し出来たら良かったかもしれないとの反省があります。一方、部会長はこれ以上ないほど活躍されたので、本当に頭が下がる思いです。
- ・まとめられた冊子が各事業所でも活用できるのではと思いました。（場合によってはBCPにも反映できるかもしれません）
- ・広いテーマでしたので、まとめるのにご苦労があったかと思います。成果物をどう活用できるか、検討したいと思います。
- ・2年コロナ部会に参加させて頂き、本当にありがとうございました。今回の全体会でガイドブックが大変ご好評頂いて嬉しく思っています。また、全体会でアフターコロナの話題が出ていました。次年度の部会編成は分かりませんが、部会に参加させて頂く際にはコロナ部会の経験を活かしたいと思います。
- ・事例集のとりまとめと作成おつかれさまでした。自立支援協議会内の事業所だけでなく、地域福祉の会や地域防災などの関係組織の方にもお配りできたり、データでHPから見られたりすると、様々な場面で活用できるのではないかと、と思いました。

### ＜障害当事者部会へ＞

- ・当事者が積極的に意見を出し、それが公的な場に吸い上げられる仕組みとして、当事者部会は大切だと思いました。また、当事者部会の方々が各部会に入ってくださっていたのは大変有難かったです。
- ・武蔵野市の特徴である当事者部会の活動と共に、自立支援協議会下の各部会への積極的な参加をぜひ続けていただきたいと思います。
- ・自立支援協議会にとって大変重要な存在だと思います。拠点部会が対象としている障害のある方は、

地域生活の維持が困難な方々が多く、当事者部会に参加できない、という状態の方も多く、彼らの声こそ耳を傾けたいと思っていますが、当事者部会の方々はそうした声も代弁してくださっていると思います。コロナ禍で会の運営も厳しい面があると思いますが、この部会が活性化し、ネットワークが広がることで、多くの当事者の声が広がっていくと思いますので、今後の会の活動を応援したいと思います。

・皆さまにはコロナ対応部会でコメントを頂き、ありがとうございます。やはり、当事者の方の声があってこそ気づかされることも当然ですが多々あるので、次年度以降も部会に参加させて頂くことがあれば、是非またよろしくお願いいたします。

### ＜地域自立支援協議会（親会）へ＞

・有難うございました。お疲れ様でした。

・皆様お疲れ様でした。今年度の引継ぎと来年度以降の部会編成など課題があると思いますが、宜しくお願い致します。

・今回のようなミッション型の部会構成は、それぞれに手ごたえを感じておられたのではないかと思います。「では次の2年間はどのようなミッション型部会が立ち上がるのか」という期待もわきます。地域の福祉ニーズは多様ですので、どこにフォーカスするかも大変重要かと思いますが、親会委員で「次につながるバトン」を渡せたら…と思いました。

・この2年、初めて自立支援協議会に参加させて頂きました。ありがとうございました。普段は就労支援を主にさせて頂いていますが、お仕事をされている方でサービスに繋がっていない、知らない状況の方がいる程度いらっしゃるなと感じています。また、ご本人の高齢化・家族の介護で（親御さんが自宅に人を上げたくないために介護認定ができないなど）、体調を崩してしまい退職に至るケースがあります。今回の全体会でも話が出ましたが、まさに横断的なネットワークというのが必要だと日々感じています。地域に密着できる自立支援協議会だからこそ取り組めることも沢山あると思いますので、次年度以降の部会編成など是非ご検討頂けますと幸いです。今後どうぞよろしくお願いいたします。

・グループセッションでお聞きできたことですが、今期の部会では取り上げられていなかった内容（はたらくことについて）の課題が話で出ました。他にも同様のことがあるのではないかと思います。